

事業報告書

平成 29 年 10 月、市立保健センター跡に市立社会福祉センターが移転し、社協も移転することになったため、平成 26 年 3 月に大阪府信用農業協同組合連合会より購入した社会福祉協議会本部建屋・土地を泉佐野市に売却をした。それに伴い倉庫やガレージの改修と社用車専用のガレージ新設を行った。

地域福祉事業においては、引き続き地区担当職員を配置し、地区福祉委員会活動への指導・援助を行った。また、策定 3 年目になる「第 2 次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を市と連携しながら中間見直しを行い、本年度 3 月に成果冊子を関係機関に配布した。

ボランティアセンター事業においては、サロン・ド・ボランティアを核とし活動の需給調整を行い、市及び市内の福祉関係の事業所に多くのボランティアを紹介することができた。また、ボランティアフェスティバルについては、下瓦屋にある商業施設いこらも～る泉佐野の臨時駐車場をお借りすることができ、従来より多くの参加者があった。

地域包括支援センター事業においては、高齢者が地域で安心して生活が続けられるよう、総合相談・権利擁護業務、介護支援専門員に対する個別支援、要支援者・事業対象者に対する介護予防プランの作成、認知症キャラバンメイトの養成講座や支援等を保健・医療・介護の福祉分野と連携を図り実施した。必要に応じて一般市民・事業所向けのさまざまな研修会等を開催した。また、国が目指す“我が事・丸ごと”を見据えきめ細かく福祉課題に対応すべく包括職員にも地域別担当制を実施した。

基幹相談支援センター事業においては、相談事業所や関係機関との連携を図り、障がい者が安心して暮らせる街づくりを目指し、障がい者虐待防止センター業務、権利擁護支援センター業務、障害者支援区分認定調査業務、田尻町への出張相談を実施した。また、障がいの有る無しにかかわらず、ともに参加できる大運動会を実施し、市関係課、民児協障害部会、社協ボランティアの協力と、全日本空輸関西空港支店の社会貢献もあって予想を上回る参加者があった。基幹相談職員にも地域担当制を実施した。

有償協力員派遣事業においては、周知が広がったせいか当初予定していた依頼件数を上回ったほか、運営委員会や協力員連絡会を開催し相互の連携を深めた。

相談支援事業 C S W（コミュニティソーシャルワーク）においては、管理者として 3 法人と毎月 1 回連絡会を開催し情報の共有や資質向上を図った。

福祉センター管理事業においては、新社会福祉センターに移転したが、さらに安心・安全に利用できるように改修などを行うとともに、利用促進が図られるようふれあい交流会を開催した。

社協自主財源の確保として、引き続き社協会員会費募集に努め、10 月には積極的に関係

役職員ならびに配分申請している事業所とで街頭で呼びかけ共同募金の増に努めた。

泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営については、引き続き連携を密にし事務局として支援した。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組んだ。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

- | | | | |
|---------------------------|---|--------------------------------------|---|
| (1) 定例理事会の開催 | 1 | 1 | 回 |
| (2) 三役会の実施 | 3 | | 回 |
| (3) 定例評議員会の開催（書面決議含む） | 6 | | 回 |
| (4) 監査の実施 | 1 | | 回 |
| (5) 理事・監事・地区福祉委員会合同研修会の開催 | 1 | | 回 |
| 開催日 | ／ | 平成29年10月4日（水）～5日（木） | |
| 内 容 | ／ | ①琴平町社協の取り組み
②坂出市地域包括支援センターの取り組み | |
| 場 所 | ／ | 琴平町社会福祉協議会・坂出市（香川県） | |
| 参加者 | ／ | 22名 | |
| (6) 理事・監事・評議員合同研修会の開催 | 1 | | 回 |
| 開催日 | ／ | 平成30年1月26日（金） | |
| 内 容 | ／ | 社会福祉協議会の役割について | |
| 講 師 | ／ | 大阪体育大学健康福祉学部 元教授 大谷 悟氏 | |
| 場 所 | ／ | 社会福祉協議会2階 大会議室 | |
| 参加者 | ／ | 35名 | |
| (7) 職員研修の実施 | 3 | | 回 |
| ①開催日 | ／ | 平成29年7月1日（土） | |
| 内 容 | ／ | メンタルヘルス研修 | |
| 講 師 | ／ | 株式会社インソース 安発 早代子氏 | |
| 場 所 | ／ | 社会福祉協議会2階研修室 | |
| 参加者 | ／ | 21名 | |
| ②開催日 | ／ | 平成29年11月27日（月） | |
| 内 容 | ／ | 「我が事・丸ごと地域共生社会づくりのための地域福祉推進の方向性について」 | |
| 講 師 | ／ | 関西学院大学人間福祉学部 教授 藤井 博志氏 | |
| 場 所 | ／ | 社会福祉センター小会議室 | |
| 参加者 | ／ | 8名（主任以上対象） | |
| ③開催日 | ／ | 平成30年1月28日（日） | |
| 内 容 | ／ | 「社協で社会福祉に従事することとは～今、問われていること」 | |
| 講 師 | ／ | 関西学院大学 人間福祉学部 教授 藤井博志氏 | |

場 所 / 社会福祉センター小会議室・大会議室

参加者 / 25名

〔2〕地域福祉事業の推進

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいいききサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが積極的に開催された。

平成25年度から継続して行っている、「地域の暮らしを話す会」については、各地区福祉委員会を単位として開催し、地域の問題の把握や、課題解決に向けた話し合いの場の設定を行うことができた。そのことによって、対象者や時間内の出入りを限定しない、「コミュニティカフェ」型のいきいきサロン活動が増えるなど、新たな活動の広がりもみられている。

また、本年度は、平成27年度～32年度までの第二次地域福祉活動計画における3年目の中間見直し年ということで、中間見直しのための各種調査を行い、中間見直し報告書を作成した。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

- | | |
|---------|---------------------------|
| 《7年度～》 | (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・ [4支部] |
| | (2) 佐野台地区福祉委員会・・・ [4支部] |
| | (3) 北中地区福祉委員会・・・ [3支部] |
| | (4) 三小地区福祉委員会・・・ [3支部] |
| | (5) 末広地区福祉委員会・・・ [6支部] |
| 《8年度～》 | (6) 一小地区福祉委員会・・・ [8支部] |
| 《9年度～》 | (7) 長滝地区福祉委員会・・・ [5支部] |
| 《10年度～》 | (8) 上之郷地区福祉委員会・・・ [7支部] |
| 《11年度～》 | (9) 大土地地区福祉委員会・・・ [2支部] |
| 《12年度～》 | (10) 長坂地区福祉委員会・・・ [8支部] |
| 《13年度～》 | (11) 日根野地区福祉委員会・・・ [9支部] |
| 《14年度～》 | (12) 南中地区福祉委員会・・・ [4支部] |
| | (13) 中央地区福祉委員会・・・ [6支部] |
| 《15年度～》 | (14) 二小地区福祉委員会・・・ [9支部] |

2. 連絡会の開催

- | | |
|-------------------|----|
| (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 | 4回 |
| (2) 支部連絡会の開催 | 1回 |

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 平成29年11月1日(水)

内 容 / ①「住民主体の子育てサロンとは」

大阪府社協地域福祉部・神谷氏

②「泉佐野市での民間保育園の取り組みについて」

こども園杉の子・杉岡氏

③意見交換

参加者 / 54名（福祉委員会、スマイルサポーター等）

(2) 研修会の実施（社協理事・監事・地区福祉委員会合同）

開催日 / 平成29年10月4日（水）～5日（木）

内容 / ①琴平町社協の取り組み
②坂出市地域包括支援センターの取り組み

場所 / 琴平町社会福祉協議会・坂出市（香川県）

参加者 / 22名

(3) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 平成30年2月22日（火）

内容 / ◆実践報告
①一小地区松原団地住宅支部福祉委員会のとりくみ
②中央地区中町支部・日根野西支部のとりくみ
◆基調講演 クラウンパフォーマンス「土曜日の天使達」
講師：障がい者就労支援事業所ぐりいと

参加者 / 305名（地区関係者・福祉事業関係者・一般市民含む）

(4) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行えるようにメニュー表の整備などを行った。

日時	地区	内容	人数
5月14日 (日)	高松支部	● 地区福祉委員会と小地域ネットワーク活動	26名
5月19日 (金)	泉ヶ丘 支部	● ボランティア活動・地区福祉委員会とは	20名
6月25日 (日)	中央住宅 支部	● ボランティア活動・地区福祉委員会とは ● 車イス体験	15名
7月27日 (木)	北中地区	● ボランティア活動・地区福祉委員会とは ● 高齢者疑似体験・車イス体験	13名
8月22日 (火)	長滝地区	● ボランティア活動・地区福祉委員会とは	22名

(5) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
12月21日(木)	第二小学校	3年生	車イス体験
1月26日(金)	第一小学校	6年生	民生委員児童委員・主任児童委員の活動について
2月14日(水)	日根野小学校	3年生	車イス体験
2月23日(金)	中央小学校	6年生	高齢者福祉（地域福祉）について

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	175	174	0	1	2,178	5,669	58
佐野台地区	224	174	48	2	9,694	13,376	138
北中地区	272	271	0	1	3,377	26,198	61
三小地区	91	82	6	3	2,236	4,284	75
末広地区	60	57	2	1	1,310	2,643	104
一小地区	201	197	1	3	3,354	6,057	191
長滝地区	67	57	5	5	1,237	2,905	73
上之郷地区	62	53	8	1	886	893	103
大土地地区	46	43	3	0	551	900	52
長坂地区	200	157	25	18	4,177	7,938	118
日根野地区	175	158	17	0	3,134	4,284	218
南中地区	168	168	0	0	2,495	6,180	76
中央地区	204	201	3	0	4,206	7,362	129
二小地区	172	168	0	4	3,013	4,592	111
合計	2,117	1,960	118	39	41,848	93,281	1,507

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	178回	154回	0回	24回	1,974名	773名
佐野台地区	131回	121回	10回	0回	3,732名	988名
北中地区	55回	36回	6回	10回	1,974名	566名
三小地区	100回	21回	1回	78回	1,033名	641名
末広地区	63回	37回	3回	23回	753名	350名
一小地区	429回	348回	24回	57回	10,409名	2,861名
長滝地区	51回	34回	3回	14回	1,010名	611名
上之郷地区	65回	48回	7回	10回	1,348名	420名
大土地地区	41回	35回	6回	0回	1,078名	180名
長坂地区	288回	259回	29回	0回	5,157名	1,099名
日根野地区	296回	263回	11回	22回	4,613名	1,125名

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきカブ	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
南 中 地 区	101 回	67 回	23 回	11 回	2,146 名	544 名
中 央 地 区	160 回	102 回	5 回	53 回	1,155 名	690 名
二 小 地 区	324 回	257 回	45 回	22 回	3,928 名	1,116 名
合 計	2,282 回	1,782 回	173 回	324 回	40,310 名	11,964 名

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日 時	場 所	人数
日 新	11 月 19 日 (日) 13:00～	上瓦屋町会館	30 名
佐野台	11 月 9 日 (木) 19:00～	佐野台集会所	19 名
北 中	11 月 24 日 (金) 19:00～	鶴原町会館	26 名
三 小	10 月 21 日 (土) 10:00～	春日町会館	16 名
末 広	12 月 14 日 (木) 19:00～	東羽倉崎南町集会所	31 名
一 小	11 月 10 日 (金) 19:00～	笠松町会館	32 名
長 滝	1 月 10 日 (水) 19:00～	長滝第一町内会館	50 名
上之郷	12 月 15 日 (金) 18:30～	上之郷小学校多目的室	19 名
大 土	12 月 16 日 (土) 19:00～	大木小学校交流棟	35 名
長 坂	10 月 17 日 (火) 19:00～	次世代育成地域交流センター	33 名
日根野	11 月 18 日 (土) 19:00～	日根野町会館	43 名
南 中	9 月 8 日 (金) 19:00～	樫井東町会館	28 名
中 央	10 月 14 日 (土) 18:00～	幸町会館	16 名
二 小	10 月 27 日 (金) 19:00～	高松総合会館	13 名

延べ参加者 391 名

6. 地域福祉活動計画の推進

- (1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催 3 回
- (2) 当事者団体等ヒアリングの実施 5 回
- (3) いずみさのみんなの絆プラン中間見直し報告書の作成

[3] 災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

平成 29 年台風 21 号・22 号による豪雨被害によって大阪南部地域で土砂崩れや氾濫が発生し、河内長野市社会福祉協議会において災害ボランティアセンターが開設されたことから、職員派遣および事前登録ボランティアによるボランティアワゴンの運行を行った。

1. 災害時図上訓練用マップの提供 3 地区

2. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

防災関係相談支援：延 120 件

訓練・会議等出席状況

開催日	地域	内容
5月12日(金)	東佐野台	絆づくり制度説明 (自主防災会会長・支部福祉委員会)
8月3日(木)	西佐野台	絆づくり制度うちあわせ
10月2日(月)	樫井東	絆づくり制度うちあわせ
10月12日(木)	樫井東	絆づくり制度うちあわせ
10月19日(木)	ママ防災会	ママ防災会のグループの会合に参加
11月5日(日)	長滝	市民防災訓練に参加
	三小	
	中庄	
12月17日(日)	松原団地住宅	個別計画作成説明(町会長・民生委員)
1月16日(火)	新長滝	絆づくり制度説明(支部福祉委員会)

3. 災害ボランティア事前登録事業

(1) 事前登録事業 登録者 28名

(2) 講習会・訓練の実施

①災害事前登録者訓練

開催日 / 平成29年9月5日(火) 11時00分～13時00分

場所 / 泉佐野市社会福祉協議会内(電話訓練)

内容 / 緊急時連絡の確認

参加者 / 8名

(3) 支援活動の実施(ボランティアワゴンの運行)

日時 / 11月10日(金)・11日(土)

場所 / 河内長野市

参加者 / 10日:5名(うち職員3名) 11日:6名(うち職員3名)

4. 泉佐野市安心生活創造推進事業 生活課題調整・検討会議の実施

開催回数 6回 参加機関 4機関

5. 他市町村災害ボランティアセンターへの応援派遣

派遣先 / 河内長野市社協災害ボランティアセンター

期間・人数 / 11月3日(2名)・11月5日(1名)

[4] ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。

新規ボランティア発掘のために、はじめてのボランティア講座やボランティアフェスティバルの開催、登録ボランティアのスキルアップのためボランティア入門講座を開催した。また、金曜日にはボランティアセンター運営委員が午前・午後各2名交代でボランティアセンターの運営にあたった。

登録ボランティアグループ、登録施設を対象に連絡会を開催し、情報交換を行った。

また、5名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設(団体)と

の調整役として活動した。

1. 各種会議の開催

- | | |
|-------------------------------|-----|
| (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 | 5回 |
| (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催（サロ開催時） | 12回 |
| (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 | 2回 |

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行った。本年度の3月末の登録ボランティアは130名、延べ活動人数は1,711名である。内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	76名
高齢者	幸テ伊ビセンター	話し相手、レクリエーション補助	18名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	44名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	42名
高齢者	グループホーム泉州	レクリエーション補助	120名
	暢楽荘	レクリエーション補助	89名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	32名
	エルダーケア	レクリエーション補助	285名
	栄公苑	レクリエーション補助	166名
	ラポート	レクリエーション補助	40名
	ホライズン	レクリエーション補助	53名
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	67名
	ぎんなん	作業補助	21名
	ふ・ふ・ふ	作業補助	121名
	ベルカント	作業補助	10名
	泉友会	レクリエーション補助	2名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	14名
	いいね	レクリエーション補助	31名
	花筏	作業補助	9名
	ルリエ	レクリエーション補助	7名
社 協	声のボランティア	市報朗読	132名
	ボランティアセンター	相談受付、シャッピ ^o 喫茶	106名
	行事	イベント手伝い	132名
	サロン・ド・ボランティア	サロン喫茶	94名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

3月末の登録ボランティアグループは15グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
手話サークル いちよう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1回	8名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	36回	151名
食生活改善協 議会	チャリティバザー事業手伝い	1回	8名
	ボランティアフェスティバル手伝い	1回	10名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア入門講座

登録ボランティアが、安心してボランティア活動に参加できるようボランティア入門講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			出席者	アドバイザー	合計
9月11日	社協	・車椅子の取り扱い、手話での挨拶、交流	1名	2名	3名
2月 3日	研修室		1名	1名	2名

(2) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア研修・交流会

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的として開催した。

開催日 / 平成29年11月22日（水）

内 容 / 障がい者理解について

講 師 / 基幹相談支援センター職員

場 所 / 社会福祉センター2階 大会議室

参加者 / 45名

4. 居場所と交流機会の提供

(1) シャッピー喫茶の運営

「誰もが立場に関わらず、ふらっと立ち寄れる空間づくり」を目的とし、平成26年10月に社会福祉協議会内に開設したシャッピー喫茶については、10月末より社会福祉センター1階に移転して継続実施した。

利用料 / 1日100円

年間収入 / 119,138円 延べ利用者数 / 1,191名

(2) ほっとサロンの開催

年10回 延べ参加者数 85名

5. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がいへの理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 平成29年11月4日(土)

内容 / ボッチャ

場所 / JCOM末広体育館

参加者 / 対象者・同伴者39名・ボランティア等10名 合計49名

(2) ボッチャスクール

2020年開催の東京パラリンピックでボッチャが行われるにあたり、障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がい者への理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 平成29年8月9・21日(水)

内容 / ボッチャ

場所 / 社会福祉センター3階 大会議室

協力者 / 対象者・同伴者35名・ボランティア等7名 合計42名

(3) 第39回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループ・市民の協力を得て、あらゆる品物を市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。 売上金 1,271,256円 (昨年比 -445,596円)

開催日 / 平成29年12月9日(土)

内容 / 物品販売・オークション等

場所 / エブノ泉の森ホール 2階

協力者 / 前日 値付け 75名

当日 各種団体・ボランティア・社協関係者/合計106名

(4) 第39回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開催日 / 平成29年11月25日(土)

内容 / 大道芸・生バンド

場所 / 泉の森ホール レセプションホール

参加者 / 対象児童52名・同伴者85名・ボランティア42名

合計179名

(5) 第6回 ボランティアフェスティバル

1人でも多くの人たちにボランティア活動について関心を持っていただくとともに

に、潜在的なボランティアを発掘することと、ボランティア相互の交流を図ることを目的に開催した。

開催日 / 平成 29 年 6 月 3 日 (土) 11 時 00 分～14 時 00 分
 場所 / いこらも～る泉佐野臨時駐車場
 参加者 / 一般参加者 185 名、出演者 53 名、ボランティア 90 名、
 その他団体 67 名 合計 395 名

6. 登録ボランティアグループ作業室利用件数

	AM	PM	計
4 月	4	11	15
5 月	4	11	15
6 月	4	11	15
7 月	4	11	15
8 月	4	11	15
合計	20	55	75

7. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	24 件
寄託金額	1,232,100 円
寄託物品	車いす、ペットボトルキャップ、ベルマーク

払い出し件数	8 件	
払い出し金	① 障がい児のためのサマースクール	50,324 円
	② 社協だより発刊	350,000 円
	③ ボランティアフェスティバル開催諸費	362,870 円
	④ チャリティバザー開催諸費	43,460 円
	⑤ ふれあいクリスマス会開催諸費	211,420 円
	⑥ 障害児者ふれあい交流会	20,216 円
	⑦ 心配ごと相談事業	180,892 円
	⑧ 災害に強いまちづくり事業	78,558 円
	合計	1,297,740 円

〔5〕総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数 13 名
 開設延日数 45 日 (うち出張相談 1 日)
 出席延相談員数 91 名

相談者数	18名（うち出張相談2名）
相談件数	22件（うち出張相談2件）
相談員連絡会議	5月11日(木) 社協2階研修室
出張相談	11月15日(水) 相談員7名 イオンモール日根野

※相談状況

内容 対象者	家族関係	人 間 関 係 の 他 の	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高齢者	7	0	0	0	0	1	4	12
障がい者	1	0	1	0	0	0	0	2
子育て中の親	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	1	3	1	0	0	0	2	7
計	9	4	2	0	0	1	6	22

※対応

傾聴 16件

助言 9件

他機関紹介 13件（CSW、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、保健所、市役所（環境衛生課）、市役所法律無料相談、権利擁護支援センター）

〔6〕コミュニティソーシャルワーク推進事業

委託先の各法人CSWと緊密な連携をとりながらCSW事業の体制強化とネットワークの構築を行った。昨年度に引き続き小中学校との連携が進み、子どもを含む世帯に対する支援への流れができた。また、個別ケースの支援を通じて明らかになった生活課題をCSWと社協地区担当者で共有し、ひきこもり等社会参加の機会の少ない人を対象に、社会参加へのきっかけとなる場の提供を「社会参加ステップ事業」として開始した。

1. 各種会議の開催

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 管理者担当者合同連絡会の開催 | 1回 |
| (2) CSW・地区担当者合同会議 | 1回 |
| (3) CSW連絡会議の開催 | 13回 |

2. 地区担当CSW活動支援（統括CSW）

【地区担当CSW】

社協（新池中校区）・水平会（第三中校区）・泉ヶ丘福社会（佐野中校区）
常茂恵会（長南中校区・日根野中校区）

- | | |
|-----------------------|-----|
| (1) 地区CSW後方支援（個別ケース等） | 94件 |
| (2) 地区CSWへのつなぎ | 28件 |
| (3) ケース検討会議 | 13件 |

(4) ネットワーク構築のための会議出席
(ケース検討会議を除く)

97件

3. 新池中学校区活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者	延べ件数	実件数
高齢者	375	28
1人暮らし	251	17
高齢者のみ世帯	60	8
その他高齢者	64	3
障がい者	975	11
身体障がい者	0	0
知的障がい者	8	1
精神障がい者	967	10
子育て中の親子	159	7
一人親家庭の親子	4	1
青少年	15	2
DV被害者	0	0
ホームレス	0	0
外国人（中国帰国者を含む）	3	1
その他	132	12
低収入（無職含む）	55	3
引きこもり	0	0
障がい疑い（疾病疑い）	15	3
DV加害者、虐待	42	5
その他	20	1
合 計	1663	62

(2) 相談内容別

相談内容	対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	784
生活に関する身近な相談	988
健康・医療に関する相談	640
生活費に関する相談	373
就労に関する相談	279
財産管理・権利擁護に関する相談	1

相談内容	対応延べ件数
多重債務に関する相談	0
DV・虐待に関する相談	20
地域福祉・ボランティアに関する相談	231
住宅に関する相談	53
子育て・子どもの教育に関する相談	30
その他	375
近隣トラブル（人間関係）	186
家族関係	189
その他	0
合 計	3,774

4. 社会参加ステップ事業

障がいや疾病その他の理由により社会参加の機会が少ない人に対し、孤立を解消し、作業や交流を通じて生活のリズムを整え、就労や定期的なサービス利用等、社会参加のきっかけとなるような通える場としてポリ袋をセットする「居場所」を提供した。

- (1) 登録者数 2名
- (2) 来所実績 延べ6日間

〔7〕在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

- (1) 会員の登録状況
協力会員 / 26名 利用会員 / 35名
- (2) 支援状況 延べ498時間
- (3) 協力員連絡会の開催 3回
- (4) 運営委員会の開催 1回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 12名 / 貸出回数 延べ48回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 21名 / 貸出回数 延べ32回

〔8〕 地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に各事業に取り組んだ。総合相談窓口として、本人・家族・他機関からの相談を受け、関係機関・多職種との連携支援を行った。

介護予防業務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計画の作成や介護予防に関する講演会の開催。また、地域からの希望テーマに合わせた出張講座などを実施した。高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行った。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族の方などが一息できる場としての認知症カフェの開催と他事業所のカフェの支援を行うとともに、安全・安心に生活できるよう認知症サポーターを養成し、徘徊者を発見するシステム徘徊SOSネットワークの南泉州圏域に参画した。今年度から初期集中支援チーム事業として医療・福祉の専門職種のチームを組み、早期発見・治療の推進や相談を開始した。また、地域での認知症の理解や啓発にWAOいずみさのを開催した。

1. 支援の基盤整備

(1) 高齢者虐待早期発見・見守りネットワーク

会議	1回	参加機関	19機関
研修会	1回	参加者数	62名

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数	59件（うち「虐待あり」判断数32件）
個別ケース会議開催数	23回

(2) 多職種連携事業（りんくう愛たいネット）

参加機関	15機関
①代表者会議	7回
②研修会	

日時	内容	参加者数
10月26日 (木)	24時間在宅医療・介護を実現するために独居認知症ケースから多職種連携を考える	91名
3月22日 (木)	講演「那賀地域における医療・福祉・行政の連携」 講師：安川 修氏（安川診療院長）	78名

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数	773名		
相談延べ件数（対応回数）	5,213件		
相談形態内訳	訪問	1,151	22.1%
	来所面接	610	11.7%
	電話	3,452	66.2%

(2) 相談内容

相 談 内 容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	603	6.9%
	ケアプラン	721	8.3%
	サービス	1,138	13.1%
	施設入所	415	4.8%
	小計	2,877	33.1%
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	130	1.5%
	ボランティアなど(制度外)	75	0.9%
	小計	205	2.4%
医療・保健相談	保健予防	20	0.2%
	入退院など(医療)	540	6.2%
	小計	560	6.4%
家庭介護・介護者支援	認知症	1,015	11.7%
	身体介護	4	0.1%
	精神介護	32	0.4%
	家庭環境	969	11.1%
	小計	2,020	23.3%
権利擁護	成年後見制度など	126	1.4%
	財産・経済問題など	680	7.8%
	虐待関係	1,691	19.5%
	その他	36	0.4%
	小計	2,533	29.1%
その他生活上の相談	社会生活など	183	2.1%
	他	314	3.6%
	小計	497	5.7%
合 計		8,692	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所

年間相談件数 192件

- ・犬鳴在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・ラポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 595件

(相談内容)

支援数	支援内訳 (延べ)				
	ケアマネジメント	社会資源 紹介	主治医 連携	虐待防止	その他
595	153	16	4	509	61

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加者数
6月16日 (金)	研修 (法定外研修含む) 「難病におけるケアマネジメントの展開」	39名
7月14日 (金)	事例検討会	27名
11月21日 (火)	研修「自立支援の考え方」	54名
1月16日 (金)	事例検討会	26名
3月13日 (火)	研修「高齢者における耐性菌の保菌状況及び施設内での感染対策」ケアマネジャーのつどい	58名
3月26日 (月)	介護予防・日常生活支援総合事業の説明会	75名

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

総会 1回 幹事会 4回
6市町村ケアマネジャー合同連絡会 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・事業対象者に対するケアマネジメント

- (1) 介護予防サービス計画作成数 8,911件
(内訳) 包括作成 971件 委託件数 7,940件
- (2) 介護予防ケアマネジメント作成数 2,623件
(内訳) 包括作成 351件 委託件数 2,272件

5. 出張講座・介護予防教室等

- (1) 介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する出張講座
24回実施 延べ650名

(2) 介護予防教室

開催日 / 平成29年11月29日(水)
場 所 / 社会福祉センター 2階 大会議室
内 容 / 講演「あなたは大丈夫ですか?!ロコモティブシンドローム」
講 師 / 藤田 和樹 氏
(大阪大学全学教育推進機構スポーツ・健康教育部門 准教授)
参加者 / 46名

6. 平成29年度介護の日 記念講演会

開催日 / 平成29年11月18日(土) 午後1時30分～3時
 場所 / 社会福祉センター 2階 大会議室
 内容 / 講演「いっそ楽しく介護 ～ココロがずっと軽くなるお話～」
 講師 / 丸山 多重子 氏 (つどい場さくらちゃん代表)
 参加者 / 48名

7. 介護支援サポーター事業

新規登録者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
11名	59名	13名	87名	333回

(1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内容	参加者数
9月26日(火)	第1回介護支援サポーター交流会	21名 (うち11施設11名)
11月29日(水)	ロコモティブシンドローム予防教室	46名
2月14日(水)	第2回介護支援サポーター交流会	23名 (うち8施設8名)
	受け入れについてのポイント講座 (受け入れ施設向け)	10施設10名

8. 認知症施策総合推進事業

(1) オレンジカフェいずみさの (認知症カフェ)

2回開催 12名参加 13時30分～15時30分 社会福祉センター3階

開催日	内容	参加者数
6月30日(金)	お話・橋の切れ端による創作・脳トレ	4名
9月15日(金)		8名

(2) 認知症ケアパス活用と充実

(3) 認知症サポーター養成講座

- ・開催回数 19回 養成サポーター数 809名 延べ 5,689名
うち、キッズサポーター養成講座(中央小学校) 113名
- ・キッズサポーター養成講座用テキスト作成

(4) 徘徊SOSネットワーク事業

- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
- ・事業普及啓発のチラシ配布
- ・事業周知の出張講座

(5) 初期集中支援チーム事業

- ・事業の周知(H30.1～開始)
- ・支援対象者1名 チーム員会議2回

(6) WAO いずみさの

月 日	開催地区	参加者数
9月16日(土)	北中校区	44名
3月24日(土)	長坂地区	27名

〔9〕 基幹相談支援センター事業の推進

総合的・専門的な相談支援に必要な相談が増えている。特に専門相談機関との連携については自立支援協議会の専門部会で取り上げ、相談支援事業所のみならずサービス提供事業所向けに研修会・勉強会を開催し意識づけを図った。

「権利擁護」の支援として社協の特性を活かし、障がい者虐待事例への対応や80・50問題を視野に入れ、地域包括支援センターやいきいきネット相談支援センターと共に個別支援会議等に参加し、問題の共有を図った。

また、啓発活動の一環として、障がいのあるなし、年齢に関係なく参加できる「社協ふれあい大運動会」や小学校に出向いて「車いす体験」出張講座を開催した。さらに、障がい者週間や社協イベントにあわせて啓発用冊子等を活用し障がいや障がい者（児）の理解について啓発を行った。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

相談実人数		337名
相談延べ件数（対応回数）		7,193件
相談形態内訳	訪問	404件
	来所面接	594件
	出張相談	18件
	同行	80件
相談形態内訳	電話	2,959件
	メール	57件
	関係機関連絡調整	2,791件
	個別支援会議	254件
	その他	36件

●相談内容延べ件数：8,760件

相談内容	延べ件数
福祉サービスの利用等	3,598件

相談内容	延べ件数
障がいや病状の理解	806件
健康・医療	556件
不安の解消・情緒安定	752件
保育・教育	59件
家族関係・人間関係	294件
家計・経済	139件
生活技術	140件
就労	468件
社会参加・余暇活動	394件
権利擁護	1,460件
その他	94件

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能） 延べ333件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議 12回

全体会・定例会・専門部会他会議の運営 20回

啓発イベント（わおねっとシンポジウム） 1回

「発達障がいの理解を求めて」～発達障がいと向き合い、親の会活動から見えてきたこと～ 講師：ペアレント・メンター

(4) 事業所連絡会のコーディネート

開催日	内容	参加者数
6月27日 (火)	「事業所間交流会」	52名
11月13日 (月)	「障がい者虐待早期発見にむけて」～権利擁護部会～	42名
2月26日 (月)	「発達障がいの理解」～家族の思い～ 講師：大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさ かペアレント・メンター	32名

(5) 相談支援体制強化（会議等の参加）

「小児在宅医療ケア連絡会」「泉佐野市相談事業連絡会」「ジョブネット泉州南」「高次脳機能障がい支援体制整備検討ワーキング（大阪府）」「精神保健福祉関係機関職員連絡会」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」「泉南支援学校進路懇談会」

(6) 啓発活動

・福祉教育（車いす体験） 2小学校に出張

(7) 講師派遣

「人権研修 ～障がいに対する理解・虐待や偏見～」

・光園職員

「大阪府相談支援従事者研修」

・初心者研修講義 3回 ・ファシリテーター 4回

(8) 第1回社協ふれあい大運動会

幼児から高齢者まで障がいのある人もない人も多様な市民が関係団体や行政等の協力・支援のもと開催される運動会に共に参加することで、連携・支え合いを実感し、ノーマライゼーションの実現と誰もが安心して住み続けられる福祉のまちづくりに寄与することを目的に開催した。

開催日 / 平成30年3月17日(土)

場所 / JCOM末広体育館 大体育室

参加者 / 88名(うち付添4名)・ボランティア等スタッフ55名 合計143名

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

・障がい者虐待通報受理件数 16件

	通報件数	対応継続	対応終結
泉佐野市	14件	4件	10件
田尻町	2件	0件	2件

・障害者虐待会議(レビュー会議) 泉佐野市1回
田尻町2回

3. 権利擁護支援センター業務

権利擁護支援センターに寄せられる相談の中で、障がい者の相談は平成26年度の件数より約9倍に増えた。また、昨年度に比べると、相談実人数は1.5倍になり、認知度が上がってきている。

本年度は、研修や啓発を効率的に実施することを目的に、社協の相談グループ(基幹・包括・CSW)が把握している権利擁護ケースの分析をおこない、その結果として相談の挙がりにくい地域への啓発や相談をしやすいためのアプローチを来年度以降取り組んでいく。

啓発活動では、「通報をためらう」という声が、障がいサービス・介護保険サービス従事者の両方から聞かれたため、高齢者虐待早期発見・見守りネットワークと合同で研修を開催した。

(1) 権利擁護に関する相談【内訳】

権利擁護	成年後見制度	虐待	その他	延べ件数
354件	58件	869件	28件	1,309件

【対応件数】

相談実人数		68名
相談結果の内訳	サービス・相談員につなぐ	7件
	(成年後見) 制度説明	9件
	日常生活・成年後見につなぐ	2件
相談結果の内訳	行政(子育て・障害福祉課等)につなぐ	11件
	関係機関(病院・包括)等につなぐ	15件
	情報共有会議の実施	21件
	法律相談(権利擁護)へ	0件
	差別解消部会へ情報提供	1件
	その他(連絡取れない他)	2件

(2) センター会議 13回

(3) 法律相談 弁護士による個別相談 57件

(4) 市民後見人関係：受任者3名

- ・受任者の相談、書類提出支援など
- ・養成講座オリエンテーション広報(チラシ・ポスター配布、社協だより、ブログにて)

(5) 研修開催

開催日	内容	参加者数
2月19日(月)	事業者向け講座(高齢者虐待早期発見・見守りネットワークと合同) 講師：平田弁護士 内容：「気になるよね」「仕方ないよね」で終わって大丈夫?! ～事例を通して権利擁護の基本を学びましょう～	62名

4. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

(1) 調査業務

	年間合計
更新調査数	197
新規調査数	129
区分変更	8
合計	334
うち市外(高石以南)	43

〔10〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行った他、本年度初めての試みとして若年者むけに「社協のお仕事カフェ」を実施した。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

- (1) 社協だよりの発行 年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）
- (2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延40,714件
- (3) 「社協のお仕事カフェ」開催

開催日 / 平成29年8月23日（水）
 内容 / 社協および職員の業務紹介と交流
 場所 / 社会福祉センター2階 第2会議室
 参加者 / 7名

〔11〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計	
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等		精神 障がい者等
活 動 件 数		373	704	1,001	2,078
新規契約件数		0	1	3	4
契 約 件 数		13	18	23	54

〔12〕 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,714,500円（昨年比-9,000円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、290,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 5 5 4, 0 0 0 円
二 小 地 区	5 4 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	7 3 3, 0 0 0 円
日 新 地 区	1, 1 2 7, 5 0 0 円
中 央 地 区	4 0 0, 0 0 0 円
長 滝 地 区	5 5 7, 0 0 0 円

北中地区	834,000円
南中地区	260,000円
長坂地区	369,000円
佐野台地区	580,000円
上之郷地区	250,000円
日根野地区	300,000円
末広地区	120,000円
大土地区	90,000円
合計	7,714,500円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちょうの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	大阪いずみ市民生活協同組合
いいね合同会社	

[13] 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金(8回)等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校6校にて児童による募金活動が行われた。

募金額 2,700,014円(昨年比 -19,838円)

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 51件 募金額 1,170,343円（昨年比 +270,546円）
 払出金額 1,322,986円

〔14〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	232件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	緊急小口資金
申込件数	20件	0件	5件
申込金額	9,355,000円	0円	450,000円

〔15〕 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

職員研修では、人権研修等を実施し、職員の意識向上を図った。

1. 高齢者・障がい者交流会及び研修会の開催

開催日	研修会名	参加者数
10月2日 (月)	さよなら交流会 「ミスマッチ」による落語、ものまね 泉佐野警察「特殊詐欺に注意」・歌体操「かがやき」 シルバー人材センター「華一座」 社会福祉センター3階 大会議室	138名
2月2日 (金)	ウエルカム交流会 泉佐野市出前講座「かがやき」悪質商法に気をつけて 星まこと・大空しのぶ ミニコンサート 社会福祉センター2階 大会議室	125名
3月15日 (木)	自衛消防訓練 火災に対する通報、避難誘導、初期消火に関する訓練	約50名

2. 福祉センター利用状況

風呂利用者数 (～10月まで)	娯楽室利用者数
4,326名	10,787名

会議室利用件数

	第1会議室	第2会議室	大会議室	合計
午前	123件 1,634名	54件 570名	162件 6,111名	339件 8,315名
午後	188件 2,867名	85件 907名	199件 7,799名	472件 11,573名
夜間	108件 2,226名	20件 446名	36件 1,955名	164件 4,627名
合計	419件 6,727名	159件 1,923名	397件 15,865名	975件 24,515名

※第2会議室は10月まで、小会議室は第1会議室に含む